



はなみずき

横浜市立鶴ヶ峯中学校
学校だより No. 235
令和5年2月2日

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/tsurugamine/>

学校教育目標

生徒一人ひとりが生き生きと自分らしい生き方を切り拓いていくための学びの場として、本校は次のことを重点とした教育活動を進めます。

自ら学び伸びる (知)
共に生きる (徳・公・開)
健やかな体をつくる (体)

相手の考えを想像する力

校長 木村 達洋



「エンパシー」という言葉が最近の教育において大切ではないかと言われています。調べてみると「エンパシー」とは、相手の考えを想像する力、共感力という意味のようです。

相手がどんな気持ちでその言葉を言っているのか、どんな気持ちでその行動をしているのかを考えることが、周囲とのコミュニケーションを深めるのに重要です。

しかし、この能力は、一方的な力関係で成り立つ人同士では高めることができません。学校でも職場でも、常に指示を待つだけでは、相手の気持ちを考えようとする力やどうしたら工夫できるかを考える力を養うことができず、その集団は指示がないと行動できず、自らの考えが無いため不安になったり、時には人を批判してしまったりして、何事も人任せになってしまう傾向にあると言われています。

似たような言葉に「シンパシー」という言葉があり、思いやりや同情、共鳴という意味を持ち、取り方によっては「気の毒に思う気持ち」との意味合いもあります。日本の教育としては、これまでどちらかという「シンパシー」を重要視していたように思います。この考えももちろん大切ではありますが、ただ、「感情」や「心」の持ちようだけでは対人関係のトラブルの解決は困難で、時には考え方の違いや立場の違いからお互いが対立してしまうこともあります。

集団やチームとして取り組むときに、「合意形成」が大切です。そのためには、もし自分の考えと違っていても、相手の考えを「もし自分がその立場だったら」と相手の立場に立って考えてから議論を重ねることです。

よく例にあげられるのが童話の「シンデレラ」で、話の中で継母からいじめられるシンデレラの様子を見て「かわいそう」とただ同情するのが「シンパシー」、「継母が結婚することで自分が経済的にラクになると思ったのに当てが外れ、その怒りをシンデレラにぶつけているかもしれない」と考えてみるのが「エンパシー」と言われます。

これからの社会を築いていく鶴ヶ峯中学校の生徒たちにも、AIを使いこなす能力とともに、機械やコンピューターでは読み取ることができない「相手の考え」を読み取る力を高めてもらいたいと思います。その能力で、これからのたくさんの課題を乗り越えてもらいたいと思います。

～誰一人取り残さない学びの機会を～

横浜は「横浜どこでもスタディ」に取り組みます



横浜市では、感染症やその他の病気・ケガ、様々な理由や事情で学校に登校できない児童生徒が自宅等で授業に参加できるよう、子ども自身が必要に応じて学ぶ方法を選べる取組を各学校で行っています。

既に、学校だよりにてお知らせをしております通り、本校では次の2つの取組を実施しております。

<取組1> ICT を活用した授業記録 7月より試行 9月より実施

授業毎に、黒板の板書やワークシートなどの配布プリントについて、画像としてカメラで撮影し、授業で既に活用している「ロイロノートスクール」にアップロードして記録に残します。そうすることで、授業の振り返りや欠席者が授業内容の確認ができるようになりました。さまざまな状況にある生徒にとっての授業記録として学びの保障を行います。

但し、黒板の板書や配布プリントが無い授業については、現在の授業の内容などを簡単に記録することになっておりますのでご承知おきください。

記録の確認方法については、生徒へ直接説明済みです。ご家庭で確認する際には、ご家庭にある端末を原則利用することになります。

<取組2> 必要対象生徒へ向けての「授業ライブ配信」 9月より試行 10月より実施



必要対象生徒へ向けて、授業をライブ配信することで、登校できない生徒へ向けて学びの保障をねらいとしております。

該当する生徒において、授業のライブ配信を希望する場合は、生徒及び保護者の方より、まずは担任に申し出いただき、その後の対応を確認することになっております。希望がある場合は、まずお知らせください。

生徒一人ひとりに担当している Chromebook 端末については、原則、校内での利用としておりますが、事情を確認したうえで、該当する生徒の自宅へ貸し出すことが可能です。

その場合は手続きを要しますので重ねてお知らせください。もちろん、ご自宅のパソコン、ICT 機器等を利用していただいても構いません。

また、配信方法は、各自の Google アカウントでログインし、Google classroom から Google meet に接続し視聴することになります。

ライブ配信する学級については、配信日までに機材を準備し、配信について当該学級の生徒にお知らせします。準備の関係で、すぐに対応できない場合がありますのでご承知おきください。

教室においては、配信していることがわかるように表示をします。

校内書き初め展 表彰

冬休みの宿題にもなっていた「書き初め」が、年明けの教室に掲示されました。その中でも、優れている作品には「銅賞」「銀賞」「金賞」が決められ色紙が貼られました。また、「金賞」については職員室前の廊下に掲示されました。



個別支援学級 合同学芸会

1月30日(月)午後、旭公会堂にて、横浜市中学校個別支援学級 合同学芸会が行われました。今年度は、市内区ごとの開催となり、旭区を二つに分けて午前と午後の発表で実施しました。

各学校がこれまで練習を重ね工夫を凝らした演目を披露しました。本校は「鶴中パフォーマンス202



2」と題し、劇やトーンチャイムでの演奏など工夫を凝らした発表を行いました。これまでに一人ひとり頑張ってきた練習してきた成果が精一杯に発揮され、まとまりのある素晴らしい演技となりました。皆さんお疲れさまでした。



1年職業講話

1月26日(木)5,6校時に、1年生は進路学習の一環として「職業講話」を行いました。体育館にて「希望ヶ丘幼稚園・保育園 園長 市川さん」「二俣川歯科口腔外科 中谷さん」「プロパンガス・リフォーム工事会社 カナエル 関口さん」より、お話を伺いました。



「なぜ仕事をするのか」を共通のキーワードに、それぞれの仕事の特徴、やりがいや苦労されている点、その仕事を目指すためにはなどを、わかりやすくお話をいただきました。



生徒にとって漠然としたイメージであった「仕事」について、より具体的な話を聞くことで、今後の職業選択につながる「職業観」を深めることができました。来年度の2年生で行う職場体験にも、つながる学習の場となりました。

今回は、旭ロータリークラブの方々にもご協力をいただき実施することができました。皆様、本当にありがとうございます。今後も、どうぞよろしくお願い致します。



<主な行事予定>

日程や内容、実施方法の変更や中止の場合もあります。

- 2月 3日(金) 新入生保護者説明会
- 3、6日(金、月) 企業運営型学習相談会(3年)
- 4日(土) 学校家庭地域連携事業実行委員会、部活動支援委員会
- 6日(月) PTA役員会・実行委員会
- 7、8、10日(火、水、金) 企業運営型学習相談会(1、2年)
- 10日(金) 私立一般受験開始 PTA総会(書面)
- 14日(火)~16日(木) 公立高受験・面接
- 14日(火) 3年特別時間割開始
- 16、17日(木、金) 1、2年学年末試験
- 16日(木) 第4回学校運営協議会(不動丸小にて)
- 21日(火) 3年卒業遠足(よみうりランド)
- 22日(水) 新入生体育用品販売 3年公立追検査
- 24日(木) 2年全国学力学習状況調査 英語「話すこと調査」事前検証
- 28日(火) 公立高発表
- 3月 2日(木) 3年生を送る会
- 3日(金) 卒業式予行
- 8日(水) 第74回卒業式

令和5年度も、全市で「さくらプログラム」を実施します！

横浜市では、令和8年度から生徒全員での給食を目指しています。来年度においても、多くの生徒に給食を食べてもらいたいと思っています。次の資料は、新入生保護者説明会で市教委より配布されたものです。来年度も「さくらプログラム」を実施いたしますのでご承知おきいただき、取組についてご理解の程、よろしくお願いいたします。

また、新2，3年生も登録可能です。詳細はHPやサポートセンターにお問い合わせください。

給食費は1食330円です。（ごはん、おかず、汁物、牛乳がセット）です。

～中学校給食を活用した

スムーズな中学校生活のスタートのために～

「さくらプログラム」についてのお知らせ

4月からの新しい中学校生活を間近に控え、生徒の皆さんは期待と不安でいっぱいな時期を過ごしていることと思います。特に4月は、これまでと異なる生活に慣れず、慌ただしい朝の時間を過ごすことも多くなると思います。

中学校生活が始まると、通学距離が長くなったり、荷物が増えたりなど、生活のリズムが大きく変わります。生徒の負担を軽減し、中学校生活へのスムーズな移行ができるように、**4月から、新1年生の皆さんに「中学校給食を食べること」を推奨する取組『さくらプログラム』を実施します。**

中学校給食を活用することで生徒の皆さんの朝の時間に余裕が生まれ、より良い中学校生活のスタートが切れることを願っています。

さくらプログラムとは？

4月から、新1年生に「中学校給食を食べること」を推奨する取組です。

※アレルギーをお持ちの方は中学校給食注文サイトに掲載されたアレルギー情報にて利用の可否をご確認ください。

※中学校給食の詳細は添付の「リーフレット」をご参照ください。

利用手続きについて

ご利用いただくには、利用者登録（無料）が必要です。

step1 各小学校を通じて2月上旬までにお渡しする
「給食利用者ID等連絡票」をご用意ください。

step2 利用者登録を行います（最短2分で完了します）。

次の二次元コードから、横浜市中学校給食のアプリをダウンロード、もしくは横浜市中学校給食注文サイトにアクセスしていただき、「給食利用者ID等連絡票」に記載されているID・パスワードを利用して登録してください。

step3 中学校給食の注文を行います。



Android版
アプリ



iPhone版
アプリ



横浜市中学校給食
注文サイト

※2月6日（月）から注文受付開始

利用者登録が完了したのち、**2月6日以降**に4月分の注文が可能です。

4月分の注文は3月中に行う必要がありますので、お忘れのないようご注意ください。

一度の注文で、学校の給食のある日全ての注文を毎月自動で入れることができる「**定期注文**」をお勧めしています。ぜひご利用ください。

【登録方法・注文方法に関する問い合わせ】

横浜市中学校給食サポートセンター

TEL：045-550-5400（電話受付時間：平日9時～17時）

【その他の問い合わせ】

横浜市教育委員会事務局健康教育・食育課

TEL：045-671-4136 FAX：045-681-1456

